

上部下部消化管疾患患者の内視鏡情報研究利用についてのお知らせ

この度、自治医科大学附属さいたま医療センターおよび自治医科大学附属病院では、「上部下部消化管疾患を対象とした内視鏡検査の精度とスピード向上のための研究」を実施することになりました。

《研究課題名》

AI（人工知能）による内視鏡画像自動診断（病変拾い上げ）システムの実証実験

《研究機関名・研究責任者》

自治医科大学附属さいたま医療センター・消化器内科 教授 眞嶋浩聡

自治医科大学附属病院富士フィルムメディカル国際光学医療講座 教授 大澤博之

《研究代表機関・代表者》

医療法人ただともひろ胃腸科肛門科・多田智裕

《共同研究機関・各研究責任者》

別紙一覧

この研究は、AIが専門医と同等の精度で読影ができるかを検証することを目的としています。これが証明されれば、内視鏡検査の精度とスピードの向上が期待できます。

この研究のため、平成17年7月から平成32年3月までに、当院で診療させていただいた方の調査を行います。対象となるのは当院で胃内視鏡と大腸内視鏡検査を受けたことのある患者さんで、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（診断・治療内容・内視鏡画像）のみです。データ上ではすべての患者様は匿名化（任意の識別番号を付与）されており、患者様のお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担が生じることはありません。なお、この研究で得られた情報は、研究代表者機関である医療法人ただともひろ胃腸科肛門科（研究代表者：多田智裕）、共同研究機関である特定国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター（責任研究者：野里博和）へ、患者様個人がいっさい特定されない形でElectronic Data Captureシステムを用いて提供させていただき、ともに解析を行う予定です。また、当該情報は内視鏡画像診断支援ソフトウェアの製品開発に利用される可能性があります。

この研究の科学的妥当性と倫理性は、日本医師会倫理審査委員会、自治医科大学臨床研究等倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

研究実施において研究グループが公的資金以外に製薬企業などから資金提供を受けていることはありません。

具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。拒否された場合でも一切の不利益はありません。

平成30年 7月

自治医科大学附属さいたま医療センター

研究責任者：眞嶋 浩聡

連絡先：048-647-2111

自治医科大学附属病院 研究責任者：大澤 博之

連絡先：0285-58-7539

苦情の窓口 自治医科大学さいたま医療センター総務課（電話：048-648-5225）

自治医科大学臨床研究支援センター臨床研究企画管理部管理部門（電話：0285-58-8933）